

岡崎市有機農業実施計画 ～オーガニックシティおかざきプラン～ について

経済振興部農務課・中山間政策課

計画対象期間

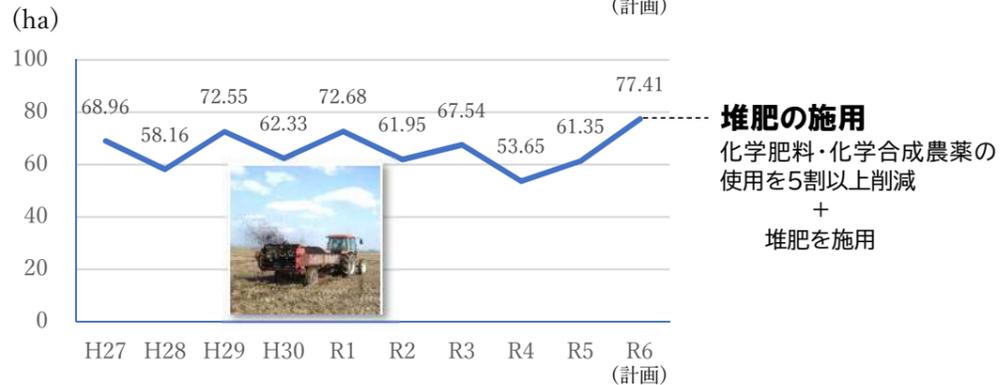
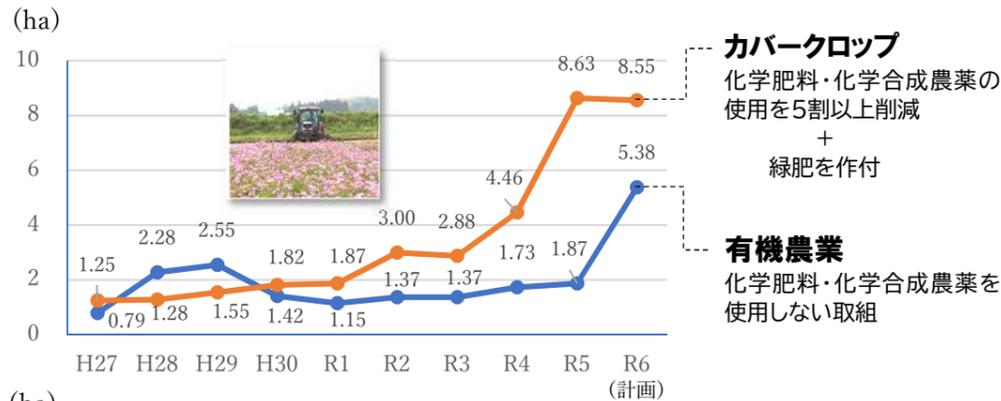
令和6年度(2024年度)から令和10年度(2028年度)

有機農業の現状

2020年農林業センサス

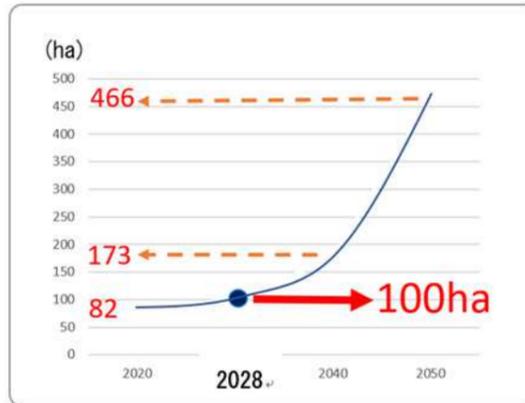
	耕地面積 ha	有機農 業面積 ha	割合	経営体数	有機農 業経営 体数	割合
岡崎市	1,865	82	4.4%	1,073	61	5.7%
愛知県	43,258	1,443	3.3%	26,893	1,290	4.8%
岐阜県	31,765	1,264	4.0%	21,015	1,234	5.9%
静岡県	36,465	1,584	4.3%	25,938	1,549	6.0%
三重県	39,656	1,871	4.7%	18,804	1,116	6.0%
東海	151,144	6,162	4.1%	92,950	5,189	5.6%
全国	3,232,882	115,269	3.6%	1,075,705	69,309	6.4%

環境保全型農業直接支払交付金取組面積の推移



目標

有機農業の面積の拡大 有機農業面積 100ha

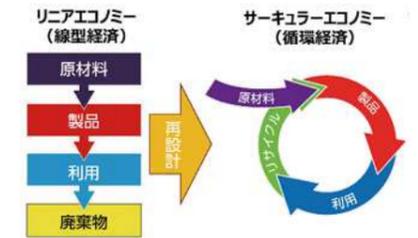


基本理念

家康公生誕の地として、江戸のまちのシステムを活かした有機農業産地づくりを目指し、食・環境・産業の好循環を実現

江戸時代は...

- 地域での活動を中心とした循環型の社会
 - 持続可能な社会: 低炭素 自然共生
- ⇒ with 家康公 after 大河



最大限に見習い
農の持つ自然循環機能を活かしつつ、
・有機資源の有効活用
・化学肥料・農薬等の使用削減による環境負荷低減

持続可能な農業
〃 フードシステムの構築
〃 自給圏の形成

地産地消の推進

取組内容

● 有機農業の生産段階における取組

- 1 新たな担い手確保の支援 (有機農業塾・有機市民農園など)
- 2 有機農業者の育成支援 (営農指導体制の構築・セミナーの開催・環境保全型農業直接支払交付金の活用など)
- 3 スマート農業・省力化技術の普及支援
- 4 未利用資源の利活用推進

● 有機農業で生産された農産物の流通、加工、消費等の取組

- 1 販路開拓支援
- 2 地域内消費の推進
- 3 学校給食の推進 (有機農産物の給食食材への導入・食育の推進など)
- 4 都市住民や企業との連携検討
- 5 貯蔵・共同出荷体制の検討
- 6 6次産業化の推進
- 7 輸出の推進
- 8 消費者への情報発信・プロモーションの実施



オーガニックビレッジ宣言

令和6年3月26日

オーガニックビレッジとは、有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者のみならず事業者や地域内外の住民を巻き込んだ地域ぐるみの取組を進める市町村のこと。愛知県内では、東郷町、南知多町に続く3番目の宣言となります。